

**「阿呆理詰日記1750」 2006/6/1**

なりたいものとなってみたいものが一致していますか。  
一致するものと本当に一致するものが本当に一致していますか。

**「阿呆理詰日記1751」 2006/6/2**

悩みから逃れる最善の法は、悩みを迷いに変換すること。  
迷いから醒める最善の法は、迷うための暇を放棄すること。

**「阿呆理詰日記1752」 2006/6/3**

哲学の科学化を哲学化すること。  
芸術の論理化を芸術化すること。  
正義の合理化を正当化すること。

**「阿呆理詰日記1753」 2006/6/4**

憎しみよりも愛のほうが愛されている。涙より笑いのほうが笑わせてくれる。けれども疑いよりも信頼のほうが信頼できるとはとうてい言えない。

**「阿呆理詰日記1754」 2006/6/5**

おっと、目立たないが重要なのを忘れていた。明号作戦。

←1743

**「阿呆理詰日記1755」 2006/6/5**

きめ細かすぎる愛ほど事実を取りこぼすものはなく、  
荒目にすぎる愛ほど事実の流通を阻むものはない。

**「阿呆理詰日記1756」 2006/6/7**

愛とは。  
親密な関係と最も親密な関係にある抽象概念。  
疎遠な関係とはもっと密接な関係にありながら最も疎遠な関係にしかない抽象概念。

(日常言語ではど一も表現しづらいですナ。↓的な趣旨。愛とは次のような y である。  
 $\forall x$  ( 抽  $x$   $\supset$  ( 距  $x$  疎  $<$  距  $y$  疎  $<$  距  $y$  親  $<$  距  $x$  親 ) ) )

**「阿呆理詰日記1757」 2006/6/9**

おのれの弱みをあえて見せる強さじゃまだ足りぬ。  
弱みを新たに次々持ちたがる強さでなければ。

**「阿呆理詰日記1758」 2006/6/9**

おのれの弱みをあえて見せる強さじゃまだ足りぬ。  
足りない強さで間に合わせてしまう強さでなければ。

**「阿呆理詰日記1759」 2006/6/10**

哲学が深遠なのは、哲学に頼ることが軽薄だから。

**「阿呆理詰日記1760」 2006/6/11**

いちばん知ってはならないのは、「知らなければよかった」こと。  
いちばん知るべきなのは、「知らなければよかった」ということ。

**「阿呆理詰日記1761」 2006/6/12**

思い出すたびに鮮明になってくる記憶と、思い出すごとに薄れてゆく記憶と。  
どちらのほうが鮮明な日々だったのだろうか。  
どちらのほうが日々を鮮明にするだろうか。

**「阿呆理詰日記1762」 2006/6/13**

赤信号と青信号のバランスのとれた人生には、青信号を出してよし。  
バランスは青へ傾く。  
そこで黄信号を。

赤と青を混ぜて黄にならないところに不合理の光源があるのかも。

**「阿呆理詰日記1763」 2006/6/14**

黄信号をもっと奮励努力せよ的超青信号ととるところから一すべての大失敗と大快拳が生まれる。

**「阿呆理詰日記1764」 2006/6/15**

真と偽を分けることは大切。真と贋を見分けることも大切。だが、真偽と真贋とを区別できるのはもっとずっと重要だ。

**「阿呆理詰日記1765」 2006/6/16**

時間が足りないという言い訳にあればほど時間を使いさえしなければ、時間が足りない言い訳など必要なかっただろうに。

**「阿呆理詰日記1766」 2006/6/17**

俺は前衛美術ってのが大嫌い。  
もっと嫌いなものといえば、前衛美術は大嫌い、などとぬけぬけと言いやがる奴くらいかな。

**「阿呆理詰日記1767」 2006/6/18**

「これまでやってきたことが無駄になる」から頑張ってる続けるというのは、これまでやってきたことをいちばん無駄にするやり方である。

**「阿呆理詰日記1768」 2006/6/19**

信じないうちは、信じられない。信じてるうちは、信じたくない。  
知らないうちは、知らなきゃだめ。知ってからは、知らなきゃよかった。

**「阿呆理詰日記1769」 2006/6/20**

桁違いだからといって桁外れとはかぎらないのにな。  
桁外れだからといって的外れでないとはかぎらないのにな。

**「阿呆理詰日記1770」 2006/6/21**

夢に向かって、これは夢か？  
現実に向かって、これは現実か？  
ともに無意味。  
夢に向かって、これは現実か？  
現実に向かって、これは夢か？  
夢の中の現実に向かって、これは現実の中の夢か？  
……どこにどう問いかけたって無意味だわ。

**「阿呆理詰日記1771」 2006/6/22**

試すには、最初の記憶。  
確かめるには、最後の記憶。

**「阿呆理詰日記1772」 2006/6/23**

できないという言い訳は、できないことの言い訳にはならない。

**「阿呆理詰日記1773」 2006/6/25**

殺傷力の大きな爆弾ほど、その閃光は美しい。

**「阿呆理詰日記1774」 2006/6/25**

信じていますのでお救いください。  
信じますのでお救いください。  
信じていなくてもお救いください。  
信じていないけれどお救いください。  
信じられるようにお救いください。  
信じませんがお救いください。  
信じられませんがお救いください。

**「阿呆理詰日記1775」 2006/6/26**

攻めの姿勢で生きさえすれば、しあわせになれる。  
のではなく、  
そう信じられさえすれば、しあわせになれる。

**「阿呆理詰日記1776」 2006/6/27**

本気で外へ追っばらいたければ、内に引きずり込んで叩きのめせ。

**「阿呆理詰日記1777」 2006/6/28**

公正な態度で臨みましょう。  
とくに誰に対して公正にしたいのかを決めたうえでね。

**「阿呆理詰日記1778」 2006/6/29**

二重否定と二倍否定を聞き違えるから……。  
二重否定と二段否定を言い間違えるから……。

**「阿呆理詰日記1779」 2006/6/30**

多忙とは、埋めるべきスケジュールと潰すべきヒマだけから成る状態。

**「阿呆理詰日記1780」 2006/7/1**

おとりといけにえとすていしのどれになりたいですか。なってみたいですか。なるのがマシですか。  
なりたくてなったのと、なってみたくてなったのと、まだマシだからなったのと、どれがいちばんマシですか。

**「阿呆理詰日記1781」 2006/7/2**

潰しとかなないとつまずいてしまうヒマ。  
埋めとかなないと落ち込んでしまうヒマ。  
そして、そんなにいじるとばれてしまうヒマ。

**「阿呆理詰日記1782」 2006/7/3**

まだやってないのは恥かしい。  
もうやったというのも恥かしい。  
やったかやってないかどっちかなのはもちろん平気だけど

**「阿呆理詰日記1783」 2006/7/4**

時間稼ぎほど時間を無駄に捨てる行為はない。  
時間貧乏ほど時間を持て余す者はいない。

**「阿呆理詰日記1784」 2006/7/5**

答えが先にあって、もともとの問いを考え出すこと。それが哲学。

一という答えがここにありますので、ではどういう問いだったかを考えてください。（「哲学とは何か」なんてつまらん問いじゃありませんよ）

**「阿呆理詰日記1785」 2006/7/6**

言葉が鋭くなるにつれて、言葉に鈍くなってゆく。  
言葉に鈍くなるにつれて、言葉が尖ってゆく。

**「阿呆理詰日記1786」 2006/7/7**

人の道を外れないための最善の道は、外れたときの風景がどんなものか、余さず知って気づけるようにしとくこと。

**「阿呆理詰日記1787」 2006/7/8**

日々受けとる有声無声のアドバイスが、どれも否応なしの命令だったらどんなに楽なことか。

**「阿呆理詰日記1788」 2006/7/9**

自分を責めるやつは不幸。  
自分を疑うやつはもっと不幸。  
自分に騙されるやつはもっともっと不幸。  
自分を妬むやつはさらにもっと不幸。  
自分に冗談の通じないやつはいちばん不幸。

**「阿呆理詰日記1789」 2006/7/10**

自分を嫌って不幸になってるやつっていちばん不幸。  
自分を嫌って不幸にならないやつっていちばん幸福。

**「阿呆理詰日記1790」 2006/7/11**

人の道をそれないためには、善の道か悪の道かより、歩道か車道かを見きわめなくちゃ。

**「阿呆理詰日記1791」 2006/7/12**

「えーと……、今日のアフォーリズムはどういうのにしたらいいだろうか？」

←1784

**「阿呆理詰日記1792」 2006/7/13**

夢は夢のまま、謎は謎のまま終わらせるのがいいかも。  
愛も愛のまま終わらせるのがいいのかも。

**「阿呆理詰日記1793」 2006/7/14**

世に敗因は、2種類しかない。  
負けたと思っ込んだこと。勝ったと思っ込んだこと。

**「阿呆理詰日記1794」 2006/7/15**

最も重要なことがらは何か。無条件でただ一つに決まる。  
と言われればまさにただ一つに決まらざるをえないだろう。

重要という概念だ。

**「阿呆理詰日記1795」 2006/7/16**

鏡に映らない人と、鏡にしか現われない人と、どっちが怖いですかね。  
夢では会えない人と、夢でしか会えない人と、どっちが身近なんですかね。

**「阿呆理詰日記1796」 2006/7/17**

強運と幸運は、どうやら決して両立しないらしい。当たり前か。

**「阿呆理詰日記1797」 2006/7/18**

大悪を最も育むのは、小悪への寛容な譲歩。  
大悪を最も励ますのは、小悪への過酷な弾劾。

「阿呆理詰日記1798」 2006/7/19

精神へのなんという冒涇だろう。  
精神とは物質の運動に他ならない、という学説が精神への冒涇になると信じるなんて。

「阿呆理詰日記1799」 2006/7/20

たかが物質にすぎなかったからといって精神が精神でなくなると思い込むなんて。  
物質にすぎなかったというたかがそれだけで精神が精神でなくなると思い込むなんて。

「阿呆理詰日記1800」 2006/7/21

精神が精神でなくなったとしたら価値がなくなると思い込むなんて。  
てか、精神が精神でなくなるってそもそも不可能なんですよ。

「阿呆理詰日記1801」 2006/7/22

およそ最も怖るべきは、不可能なことを怖れる心である。

「阿呆理詰日記1802」 2006/7/23

不可能なことへの怖れと、不可能への怖れとは、可能なかぎり異なる。

「阿呆理詰日記1803」 2006/7/24

不可能なことへの怖れと、不可能への怖れとは、不可能なほど異なる。

「阿呆理詰日記1804」 2006/7/25

大筋を認めたくないとき、人は「詳細は忘れた」と言う。  
詳細を隠したいとき、人は「大筋では正しい」と言う。

「阿呆理詰日記1805」 2006/7/30

自虐こそ最高の自慰。

「阿呆理詰日記1806」 2006/7/30

自嘲こそ最短の自爆。

「阿呆理詰日記1807」 2006/7/30

自賛こそ最も自信なき自戒。

「阿呆理詰日記1808」 2006/7/30

反省と後悔の区別のつかないやつが、後悔することになる。

「阿呆理詰日記1809」 2006/7/30

反省と後悔の区別のつきすぎるやつが、本当の後悔をすることになる。

「阿呆理詰日記1810」 2006/7/31

とりあえずの反省と本当の反省の区別のつかないやつが、後悔することになる。  
とりあえずの反省とさしあたりの反省の区別のついたりするやつが、本当に後悔することになる。

「阿呆理詰日記1811」 2006/8/1

3つの願いというのは、たいてい、何にせよ3つの願いが各々確実に叶えられますように、との願いで使い果たされてしまう。  
たったひとつの願いというのは、つねに、それが唯一の願いに値するかどうか知りたい、との願いで使い果たされてしまう。

**「阿呆理詰日記1812」 2006/8/2**  
過ちは、無能の証拠ではない。  
しかし、無能の証拠がある証拠ではある。

**「阿呆理詰日記1813」 2006/8/3**  
証拠は、証明ではない。  
しかし、証明を試みるべき根拠である。

**「阿呆理詰日記1814」 2006/8/4**  
みが変わりといけにえだったらどちらにしますか。  
どちらを選ぶ人を選びますか。

**「阿呆理詰日記1815」 2006/8/5**  
ありったけの無知を極小の空間に詰め込めば、この上ない知恵になる。

**「阿呆理詰日記1816」 2006/8/6**  
唯一の選択肢とは、たいてい、唯一と言ってサマになる唯一の選択肢という意味である。

**「阿呆理詰日記1817」 2006/8/7**  
唯一の選択肢とは、おそらく、唯一と言ってサマになる多くの選択肢のうちの一つという意味である。

**「阿呆理詰日記1818」 2006/8/8**  
最も有意義な知は、単に無知を知ることではない。  
さまざまな無知の間の諸関係を体系化することである。

**「阿呆理詰日記1819」 2006/8/9**  
「平和を」という真剣な希求は、戦争の終わりを示す。  
もしくは、戦争の始まりを。

**「阿呆理詰日記1820」 2006/8/10**  
万事、見方次第。  
WW2は枢軸側の勝利だったと判定される日が来ないとはかぎらない。  
たとえば、殺した人数は連合国側の約5倍だったと。

**「阿呆理詰日記1821」 2006/8/11**  
自分の平凡さに本当に気づくには、非凡な反省力が要る。  
自分の本当の平凡さに気づくには、非凡な平凡さが要る。

**「阿呆理詰日記1822」 2006/8/12**  
思い出を温めよう。  
もちろん、現在のほうが温かい場合にのみ可能ですが。

**「阿呆理詰日記1823」 2006/8/13**  
思い出で温まろう。  
ただし、現在のほうが温かい場合にのみ可能ですが。

**「阿呆理詰日記1824」 2006/8/14**  
悪乗りには乗れるが、乗りへの悪乗りには乗れん。  
悪乗りを名乗るにしても、名乗りの悪乗りは名乗れん。

**「阿呆理詰日記1825」 2006/8/15**  
謙虚から傲慢へはたった三文字。  
まだまだ準備不足なので、これが最善です。

まだまだ準備不足ですが、これが最善です。

**「阿呆理詰日記1826」 2006/8/16**

自由意思を感じることは、この世で最も自由の利かないことの一つである。  
自由意思を否定することは、この世で最も自由になされた選択の一つである。

**「阿呆理詰日記1827」 2006/8/17**

形而上学の中で最も人気のある分野は、反形而上学。  
という認識が、最大の形而上学。  
という認識が妥当かどうか問うのが、最高の形而上学。

**「阿呆理詰日記1828」 2006/8/18**

説明は必ず終わらなければならない。  
しかし常に、まだ終わってはならない。

**「阿呆理詰日記1829」 2006/8/19**

なぜ誤解されやすいのか。誤解の余地のないことばかり述べるからである。

**「阿呆理詰日記1830」 2006/8/20**

なぜ（ ）のか。誤解されても支障ないことばかり述べるからである。  
なぜ（ ）のか。誤解しかできないことばかり述べるからである。

**「阿呆理詰日記1831」 2006/8/21**

宇宙に価値を求めるのは、無価値なこと。  
宇宙に価値を認めるのは、価値高きこと。  
宇宙の価値を纏めるのは、価値に反すること。

**「阿呆理詰日記1832」 2006/8/22**

論理の目的。  
リスクを冒す必要性をゼロにすること。  
反論理の志。  
リスクを冒す必要性をゼロにする必要性をゼロにすること。  
反論理の結果。  
リスクを冒す必要性をゼロにする必要性を無限大にすること。

**「阿呆理詰日記1833」 2006/8/23**

愛とは何か、を知るためには、愛とは何のようなものか、を知る必要がある。

**「阿呆理詰日記1834」 2006/8/24**

愛とは何か、を知るためには、愛とは何のようなものか、にこだわらずにいる必要がある。

**「阿呆理詰日記1835」 2006/8/25**

間違いだとわかってることを信じようとする姿勢は、意外と害がない。  
信じていないことを信じてるふりをする姿勢が、莫大な害を生む。

**「阿呆理詰日記1836」 2006/8/26**

祈りが天に聞き届けられればいいのに、とみんなが切に願う。  
が、  
祈りが天に聞き届けられると実証されたなら、なんと怖ろしいことだとみんな思うだろう。

**「阿呆理詰日記1837」 2006/8/27**

景気づけには全国制覇を。  
争乱と破壊を起こすには世界制覇を。  
恒久平和のためには宇宙制覇を。

唱えてください。

**「阿呆理詰日記1838」 2006/8/28**

芸術と芸術でないものをしっかり区別しましょう。  
ただし芸術的な区別じゃ困りますんで。

**「阿呆理詰日記1839」 2006/8/29**

悪しき芸術と、非芸術とをしっかり区別しましょう。  
芸術的な区別でもかまいませんので

**「阿呆理詰日記1840」 2006/8/30**

本当にくつろぎたいなら、淋しいのを我慢しなければならない。

**「阿呆理詰日記1841」 2006/8/31**

生きる意味が特別に薄い人間だと考えて自死にいたる者がいる。  
自分を特別視できているかぎり、生きる意義があるのだが。

**「阿呆理詰日記1842」 2006/9/1**

聞く者などいなくてかまわないところが捨て科白らしいが、捨う者がいなくては捨て科白になれない。

**「阿呆理詰日記1843」 2006/9/2**

取り逃がした魚は後悔のタネだが、取り逃がし損なった魚に比べれば全然マシだろう。

**「阿呆理詰日記1844」 2006/9/3**

人格に問題があるからといって、業績を否定してはいけない。  
しかし、つい否定したくなる気持ちまでは禁止できない。  
衝動が評価に影響することもまた禁止できない。

**「阿呆理詰日記1845」 2006/9/4**

醜いからといって、劣っていると思っはいけない。  
しかし、つい思いたくなる気持ちまでは禁止できない。  
感性が評価に影響することもまた禁止できない。

**「阿呆理詰日記1846」 2006/9/5**

名人芸あればこそ名人は名人。  
が、名人芸に頼るようでは名人にあらず。

**「阿呆理詰日記1847」 2006/9/6**

伝説あればこそ天才は天才。  
ただし伝説で売ってるようでは天才の名に値せず。  
天才でもってるようでは伝説の名に値せず。

**「阿呆理詰日記1848」 2006/9/7**

「俺じゃない」  
「知らなかったんだ」  
「間違えたんだ」  
「気づいたらやってたんだ」  
「軽い気持ちだったんだ」  
「魔が差したんだ」  
「太陽のせいだ」  
「悪いこととは知らなかったんだ」  
「悪くないと思ってたんだ」  
「よかれと思ってやったんだ」

「バレないと思ったんだ」  
「許してもらえと思ったんだ」  
「俺一人くらいいいと思ったんだ」  
「あいつやあいつよりはマシだ」  
「いずれにせよ証拠はないんだろう」

「阿呆理詰日記1849」 2006/9/13  
限界を感じたとき、彼は限界に見放されている。

「阿呆理詰日記1850」 2006/9/13  
祈りが聞き届けられて疑心なく喜べる人は、もともと祈る必要のなかった人だろう。

「阿呆理詰日記1851」 2006/9/13  
愛は、理解するより身を委ねるべきものである。  
という考えは、身を委ねるより理解すべきものである。  
という考えは、理解するより身を—

「阿呆理詰日記1852」 2006/9/13  
自由にやるしか選択肢がない。  
選択肢を持たない自由に浴する。  
この二つだけに選択肢を絞る。  
この二つにまで選択肢を拡げる。  
この二つにまで選択肢を拡げる。  
この二つだけに選択肢を絞る。  
この—

「阿呆理詰日記1853」 2006/9/13  
ヒマをつぶすのに最も適さない過ごし方は、ひまつぶしをすること。  
ひまつぶしとして最適な過ごし方は、ひまつぶしを探すこと。

「阿呆理詰日記1854」 2006/9/13  
ひまつぶしとして真に最適な過ごし方は、ひまつぶしをつぶすこと。

「阿呆理詰日記1855」 2006/9/14  
科学にも解き明かせないことがある、となんだか喜んでるそのあなた。  
そんなに科学を信じきって大丈夫ですか？

「阿呆理詰日記1856」 2006/9/15  
快挙あればこそ英雄は英雄。  
快挙だと思われているうちは英雄ではないが。  
快挙だったと振り返られるともはや英雄ではないが。

「阿呆理詰日記1857」 2006/9/16  
主流を外れるほど誇らしいことはない。  
主流を外されるほど淋しいことはない。

「阿呆理詰日記1858」 2006/9/17  
主流を外れるのはつねにかっこいい。  
ただしマイナー分野ほどその中のメジャーを外れるとろくな目にあわない。

「阿呆理詰日記1859」 2006/9/18  
好奇心の最大の対象となるのは—  
好奇心による探究は他の動機による探究に比べて好奇心を満たせないのはなぜか、ということ  
である。

**「阿呆理詰日記1860」 2006/9/19**

愛は憎しみにまさる。  
過剰な愛も不十分な愛も適度な憎しみにまさる。  
ただし、無自覚な愛は考え抜かれた憎しみに劣る。

**「阿呆理詰日記1861」 2006/9/20**

野暮を承知で意味的掛詞の注釈させていただきます／  
科学はほとんど何でも解き明かせる、て過大評価と、  
限界についての科学の自己申告は信じていい、て過大評価とを掛けてます。  
←1855

**「阿呆理詰日記1862」 2006/9/21**

萌え の類義語を（または類義度指数を）決めてください。  
{ 酔え 癒え 冴え 肥え 栄え 映え  
燃え 植え 超え 餓え 乞え 食べ }

萌え の反対語を（または反対度指数を）決めてください。  
{ 萎え 冷え 耐え 煮え 消え 怖え 終え オエ }

萌え の無縁語を（または無縁度指数を）決めてください。  
{ 緬え 問え 代え 見え 和え 添え 遭え 吠え }

**「阿呆理詰日記1863」 2006/9/22**

「貴婦人は娼婦のように、娼婦は貴婦人のように扱え」という諺があるそうなの。  
では〈娼婦である貴婦人〉はいかように扱うべき？

**「阿呆理詰日記1864」 2006/9/23**

欺瞞は必ずしも悪ではない。  
欺瞞的であることは常に悪だが。

**「阿呆理詰日記1865」 2006/9/24**

かかし、こけし、ダルマ、わら人形、てるてる坊主、マネキン、仏像、マリオネット、雛人形、  
キューピー、埴輪、人体模型、お地蔵さん、ダッチワイフ、人型標的、雪だるま、ミイラ、ト  
ルソー、奴隸。どれがいちばん（ ）ですか。  
その答えによって、何がわかりますか。  
（ ）に何を入れるかによって、何がわかりますか。  
そのどちらによって、より多くがわかりますか。  
どちらという選択によって、何が判定できるのですか。  
その答えによって……

**「阿呆理詰日記1866」 2006/9/25**

好奇心を満たす度合が最も低いのは、好奇心を動機とした探究である。  
なぜそうなのか、という問題こそ、最も好奇心を刺激する。  
←1859

**「阿呆理詰日記1867」 2006/9/26**

人を駆り立てる知は、人を支えない。  
人を温める愛は、人を覚まさない。

**「阿呆理詰日記1868」 2006/9/27**

フェアな批評を心がけよ。  
ただし批評に取り上げるかどうかをフェアに決める義理はなし。

**「阿呆理詰日記1869」 2006/9/28**

孤独な依存、それが束縛。  
依存しつつも保てる孤独、それが自由。

**「阿呆理詰日記1870」 2006/9/28**

悔恨は強い。裏切られる恐れのない感情だから。  
諦念はもっと強い。裏切られてもかまわない感情だから。  
幻滅は最も強い。裏切られるのを望む感情だから。  
懐旧は弱い。裏切られる恐れにみちた感情だから。  
期待はもっと弱い。裏切られずとも揺らぐ感情だから。  
憧憬は最も弱い。裏切られないと潰える感情だから。

**「阿呆理詰日記1871」 2006/9/30**

手段を目的とする人、目的を手段にする人ばかり。  
目的を目的にする人、手段を手段にする人はめったにいない。

手段を目的とすること、目的を手段にすることが目的になってばかり。  
目的を目的とすること、手段を手段にすることは手段になるばかり。

**「阿呆理詰日記1872」 2006/10/1**

恥をかかせずに弁護することはできない。  
侮らずに愛することはできない。

**「阿呆理詰日記1873」 2006/10/2**

死のイメージが定かでないあいだだけ、生の正体を見据えずになんとか生きてゆくことができる。

**「阿呆理詰日記1874」 2006/10/3**

生のイメージがおぼつかないうちは、死を怖れ続ける口実に事欠かない。

**「阿呆理詰日記1875」 2006/10/4**

神の存在を信じない人ほど、神の言葉を鵜呑みにしがちである。

**「阿呆理詰日記1876」 2006/10/5**

幽霊を信じない人にかぎって、怨霊の囁きを信じてしまう。

**「阿呆理詰日記1877」 2006/10/6**

人間の本当の賢さは、手持ちぶさたをどれだけなくせるかによって決まる。  
人間の本当の強さは、気詰まりにどれほど耐えられるかによって決まる。

**「阿呆理詰日記1878」 2006/10/7**

これ見よがしに囁かれても疑い続ける人にかぎって、ナチュラルな眩きなら信じきってしまう。

**「阿呆理詰日記1879」 2006/10/8**

善悪の境界線を厳格に引こうとする人たちが、善悪の区別を曖昧にしてしまう。  
真偽の区別を厳密に決定しようとする者たちが、真偽の境界を疑わしくしてしまう。

**「阿呆理詰日記1880」 2006/10/9**

好奇心に7種。  
知りたいたけの好奇心。考えただけの好奇心。問いたいたけの好奇心。答えただけの好奇心。驚きたいたけの好奇心。選びたいたけの好奇心。迷いたいたけの好奇心。浸りたいたけの好奇心。あれっ数が越えてるぞという好奇心。

**「阿呆理詰日記1881」 2006/10/10**

体面を保とうとしているならまだ体面を気にする必要ないってこと。  
体面を繕おうとするのはもはや体面を繕えなくなったってこと。

**「阿呆理詰日記1882」 2006/10/11**

落ち込んでるやつって、  
自分にツッコミ入れ忘れたまましばらく過ごしちゃったんだらうな。

**「阿呆理詰日記1883」 2006/10/12**

真の實力はもちろん、實力以上に過大評価させる品格にある

**「阿呆理詰日記1884」 2006/10/13**

真のまやかしはたとえば、真の實力以上に過大評価させる風格にある。

**「阿呆理詰日記1885」 2006/10/14**

虚空では、空虚な眩きだけが充実をもたらす。(のかも)  
密集地では、空虚な問いだけが確実な輪郭をもたらす。(のだとか)

**「阿呆理詰日記1886」 2006/10/15**

どうしたらよいのかどうしても迷ったら、法律に従いましょう。

**「阿呆理詰日記1887」 2006/10/16**

敵を降参させるには、奇襲戦法が一番。  
奇襲すぎて、降参する暇も与えないでは持久戦にもつれるが。  
弱みを吐かせるには、持久戦が当然。  
持久すぎて、つけ込む隙を与えたのでは奇襲をくらうが。

**「阿呆理詰日記1888」 2006/10/17**

愛は金で買える。  
本物の愛だって金で買える。  
ただし相当の時間もかかることを覚悟しといてね。

**「阿呆理詰日記1889」 2006/10/18**

「いろんな考えがあるのがいいんだ」と「いろんな考えがあってもいいんだ」の違いは、「いろんな考えがあるのがいいんだ」と「いろんな考えがあっちゃいけない」の違いよりそりゃ大きい。

**「阿呆理詰日記1890」 2006/10/19**

信仰と洗神の違いは、信念と信条の違いにも匹敵するであろう。

**「阿呆理詰日記1891」 2006/10/20**

なにを無視すべきかをよく注視して決めよ。  
無視し続けるべきかどうか決めるためいっそう注視し続けよ。

**「阿呆理詰日記1892」 2006/10/21**

いかなる虚偽、邪悪、下劣、醜悪にもメリットがある。そのようなものが可能だったのだという事実を学べること。  
そしてそんなことを学んでも無益であると知れること。

**「阿呆理詰日記1893」 2006/10/22**

ヒーローを殺してもヒーローになれるわけではない。  
天才を論駁しても天才になれるわけではない。  
超人を生み出しても超人になれるわけではない。  
神を作り出せば神になれるだろうが。

「阿呆理詰日記1894」 2006/10/23

本心を見抜くよりも、うわべをうわべ通りに見てとるほうがはるかにむずかしい。

「阿呆理詰日記1895」 2006/10/24

天才とは、傑作を粗製濫造する権利。

「阿呆理詰日記1896」 2006/10/25

最大の安堵とは—  
事実上の不幸が、本当の不幸になったとき。

「阿呆理詰日記1897」 2006/10/26

最大の落胆とは—  
事実上の愛が、本物の愛と認められたとき。

「阿呆理詰日記1898」 2006/10/27

苦悩に見舞われたとき—  
その苦悩を※※と名づけて  
「※※のパラドクス」と呟いてみよう。  
—やっぱりダメ？

「阿呆理詰日記1899」 2006/10/28

「習うより慣れろ」では足りない。  
「慣れるより習え、より習うより慣れよ」と言えなければ。

「阿呆理詰日記1900」 2006/10/29

毎日のオチを考えつづける人生—  
人生のネタバレを避けている毎日—

「阿呆理詰日記1901」 2006/10/30

誠実。本音を隠す技術を・隠す情緒。建前を露わにする衝動を・露わにする技術。

「阿呆理詰日記1902」 2006/10/31

快なき選択と選択なき快、どちらを選択する？  
どちらが快い？  
どちらを快く選択する？

「阿呆理詰日記1903」 2006/11/1

専門外の議論で形勢を見きわめる方法。その1。  
言葉尻を濁した方の負け。  
言葉尻をとらえた方の負け。  
「言葉尻をとらえるのはやめてください」と言った方の負け。

「阿呆理詰日記1904」 2006/11/2

ほとんどの間違いの源は、案外次の二つに還元される。  
「喧嘩に勝った方がたくさん殴ったに決まってるだろう」  
「戦争に勝った方がたくさん殺してるに決まってるじゃないか」

そして案外どちらか一方だけには還元できない。

「阿呆理詰日記1905」 2006/11/3

こじつけが一番自然であるとき。  
ゴリ押しが一番穏健であるとき。  
何の定義でしょうか？

**「阿呆理詰日記1906」 2006/11/4**

仲の良さって5種類あるんだって。

喧嘩しない仲。

喧嘩しても平気な仲。

喧嘩しても平気でなくても大丈夫な仲。

喧嘩を知らない仲。

喧嘩を知ったかぶりする仲。

**「阿呆理詰日記1907」 2006/11/5**

何でも疑ってかかる人ほど騙しやすい人はない。

何でも信じる人ほど納得させにくい人はない。

**「阿呆理詰日記1908」 2006/11/6**

オレがほめたいものをけなす奴より、オレがけなしたいものをほめる奴のほうが腹立たしいのはなぜだろう。

**「阿呆理詰日記1909」 2006/11/7**

隠し事がバレてもなんとかなる。厄介なのは、隠していたということがバレること。

**「阿呆理詰日記1910」 2006/11/8**

一時間多く予習しておくのと、一時間長く寝ておくのと、一発抜いておくのと、どれが一番効果あるでしょうか？

んなこと頭かすめてる余裕あるなら、抜き無し徹夜のぶっつけ本番で大丈夫ですよ。

**「阿呆理詰日記1911」 2006/11/9**

大勢の中では最初の決断がものをいう。一人においては最後の諦めが死命を決する。

**「阿呆理詰日記1912」 2006/11/10**

何か隠してるとバレるのはまずい。

何も隠してないとバレるのはもっとまずい。

←1909

**「阿呆理詰日記1913」 2006/11/11**

正直は最も得策。

わかっているからこそ、

正直で得できなかったらとこわくて正直になれません。

**「阿呆理詰日記1914」 2006/11/12**

すれ違いの最大の原因一、女は男を、ただ男だからって尊重しはしないが、男にとっていかなる女も、単に女だというだけで価値があるってこと。

**「阿呆理詰日記1915」 2006/11/13**

本当に孤独を楽しめるようになれば達人だ。孤独の達人ではなく、楽しみの達人でもなく、なることの達人。

**「阿呆理詰日記1916」 2006/11/14**

始めに合図をしたからといって、ヤラセとはかぎらない。

最後に合図をしたからといって、ヤラセ終えたとはかぎらない。

**「阿呆理詰日記1917」 2006/11/15**

徹底抗戦せねばならぬほど追い詰められてこそ、徹底抗戦の勇気が出るのだろう。

徹底抗戦できるほどの余裕があれば、徹底抗戦などという無駄をする気にならんだろう。

**「阿呆理詰日記1918」 2006/11/16**

神無くしては成り立たない社会だから、神抜きでこそうまくゆく。  
神を信じずには生きられない人だから、神のもとでは決して生きてゆけない。

**「阿呆理詰日記1919」 2006/11/17**

人類史上、最も根深い二大自己欺瞞。  
「死にたい」「死にたくない」

**「阿呆理詰日記1920」 2006/11/18**

悪を憎むことは誰にでもできるが、悪を貶めてやることはなかなかできることではない。

**「阿呆理詰日記1921」 2006/11/19**

戦争が怖ろしいのは、多くの人が殺されるからではない。  
十分な人数が殺されないからである。

**「阿呆理詰日記1922」 2006/11/20**

戦争の本当の悲惨は、戦争がまだ十分に悲惨でないことにある。

**「阿呆理詰日記1923」 2006/11/21**

哲学って役に立つのか？ と疑惑が持たれているあいだは、哲学は役に立つ。

**「阿呆理詰日記1924」 2006/11/22**

哲学って何の役に立つかな、と期待されているかぎり、哲学は役に立たない。

**「阿呆理詰日記1925」 2006/11/23**

神が望まれているかぎり、神の存在は望ましくない。  
神が疑われているあいだだけ、神への信仰は続いてゆく。

**「阿呆理詰日記1926」 2006/11/24**

有神論が使いものにならないのは、神が定義されていないからかな。  
神の定義がないのは、本当に定義できるのは神だけだからかな。

**「阿呆理詰日記1927」 2006/11/25**

一番恥かしいもの二つ。  
非現実的な希望。現実的な野望。

**「阿呆理詰日記1928」 2006/11/26**

一番危ないもの二つ。  
蒙昧な理性。理智的な狂信。

**「阿呆理詰日記1929」 2006/11/27**

1927を1928と編曲したら平板に感じられるのはなぜだろう。  
そう自問すれば平板を傾けおおせたかのように安心できるのはなぜだろう。

**「阿呆理詰日記1930」 2006/11/28**

平和は愛によって実現されるのではない。愛とともに実現される。  
愛は平和とともに実現されると思ってはならない。愛が平和を実現すると思わなければ。

**「阿呆理詰日記1931」 2006/11/29**

俺ってそっち方面やっぱ全然ダメかも。  
神が存在するとしたら、と仮定することができないや。  
神が存在すると俺が信じていたとしたら、という仮定しか。

**「阿呆理詰日記1932」 2006/11/30**

論理は、情緒に反しない。情緒としてイメージされているものを破壊するだけである。

科学は、神秘を消去しない。神秘的だと思われているものを消し去るだけである。

**「阿呆理詰日記1933」 2006/12/1**

略図に要約できる情緒、実感が伴わないと伝わらぬ論理。そんなんばっかだから論理に情緒が失われてゆく。情緒が論理に置いてけぼりになる。

**「阿呆理詰日記1934」 2006/12/2**

十の戒めを守るより、十の守りを戒めるほうが先だろう。

**「阿呆理詰日記1935」 2006/12/3**

「○○は神秘だ」は

○ ○に関する最も世俗的な仮説である。

**「阿呆理詰日記1936」 2006/12/4**

「答えは一つではない」って、それしかアドバイスくれんのですか。

「答えと違ってアドバイスは一つのほうがよい」って、いくつに比べてですか。ゼロですか、108ですか。

**「阿呆理詰日記1937」 2006/12/5**

肯定否定どちらが正しいか結論する前に、いかにも肯定が似合う命題、いかにも否定が似合う命題ってあるものだ、と気づいておくがよい。

**「阿呆理詰日記1938」 2006/12/6**

すっぽ抜けをジャストミートされると恥をかかずにすむ。

すっぽ抜けを空振りされれば恥をかかずにすまずにすむ。

**「阿呆理詰日記1939」 2006/12/7**

恨まれる覚えなどない。だから恨まれるのだ。

恨んだつもりなどない。だからつもりつもののだ。

**「阿呆理詰日記1940」 2006/12/8**

人間と犬の違いに比べれば、そりやおとなと子どもの違いは小さい。

おとなと子どもの違いに比べれば、男と女の違いはそりや微々たるもの。

男と女の違いに比べれば、人間とコンピュータの違いなんて無きに等しい。

**「阿呆理詰日記1941」 2006/12/9**

どんな誓いにも呪いの要素がある。

どんな願望にも呪いが混じっている。

どんな祈りにも何らかの呪いが込められている。

どんな祝福も必ずいくらかの呪いに染まってるんだってば。

**「阿呆理詰日記1942」 2006/12/10**

口説き上手より付き合い上手のほうが、上手な人生を歩むだろう。

愛撫上手より恋文上手のほうが、愛すべき人生を送るだろう。

**「阿呆理詰日記1943」 2006/12/11**

世に言う「矛盾」はたいてい、「背の低い人のほうがなぜか声が高い」の類にすぎない。

**「阿呆理詰日記1944」 2006/12/12**

個人の道徳レベルは、かなり簡単なことで測定できる。

たとえば。コンピュータ将棋に負かされたとき、いきなり消したりせずちゃんと「投了します」をクリックしてから終えるかどうか。

**「阿呆理詰日記1945」 2006/12/13**

生まれか育ちか、ではない。  
育たない生まれか、育つ生まれか、だ。  
生みやすい育ちか、生みにくい育ちか、だ。

**「阿呆理詰日記1946」 2006/12/14**

もちろん正しくは、  
育ちやすい生まれか、生みやすい育ちか、だ。

**「阿呆理詰日記1947」 2006/12/15**

知的レベルより倫理的レベルを重んじる人のほうが、知的レベルが高い。  
倫理的正しさより知的正しさを重んじる人のほうが、倫理的に正しい。

**「阿呆理詰日記1948」 2006/12/16**

宇宙には価値がない。←これが  
「宇宙に価値は組み込まれていない」。  
「宇宙そのものが無価値である」。  
どちらの意味なのか区別できないようでは、その者の宇宙は無価値である。

**「阿呆理詰日記1949」 2006/12/17**

間違いに気づく自信がない場合、複数の間違いを見分けるところから始めてみよう。

**「阿呆理詰日記1950」 2006/12/18**

勉強不足に、睡眠不足なみの自覚症状が伴っていたらなあ。  
娯楽不足に、勉強不足なみの他覚症状が伴っていたらなあ。

**「阿呆理詰日記1951」 2006/12/19**

繋ぐための。  
逃さないための。  
頷かせるための。  
一ループの効用三種。

**「阿呆理詰日記1952」 2006/12/20**

古い暗証番号を覚えているのは無駄である。  
死んだ友人の名を忘れずにいるのも似たようなものである。  
そう考えている人間が少なくないことは忘れるべからざる事実である。

**「阿呆理詰日記1953」 2006/12/21**

カメラ目線はみんなヤラセ。  
正義を担うにはそのくらいガチの目線でないと。

**「阿呆理詰日記1954」 2006/12/22**

反俗と反体制。  
混同するのが俗。  
隔離するのが体制。

**「阿呆理詰日記1955」 2006/12/23**

カメラ目線はみんなヤラセ。  
ガチで通すにはそれくらいのカメラ目線でないと。

←1953

**「阿呆理詰日記1956」 2006/12/24**

責任逃れは悪。  
さらに悪いのは、責任がないのに責任逃れするやつ。

**「阿呆理詰日記1957」 2006/12/25**

もともと持ってもいない責任の、責任逃れをすることで、ほとぼり褪めて重責を負う地位に昇格しているやつがいる。いるよな。

**「阿呆理詰日記1958」 2006/12/26**

有難迷惑に四種。

書いた文章に間違っただけを振ってくれる。

書いた文章に返り点を付けてくれる。

書いた文章を人前で朗読してくれる。

そのどれもやらず書いた文章を出版するまで待ってくれる。

**「阿呆理詰日記1959」 2006/12/27**

話し合いができないのか話し合いにならないのか。

話し合ってもだめなのか話し合うとだめなのか。

話し合ってもなかったのか話し合いがなかったのか話し合わないことがあったのか。

**「阿呆理詰日記1960」 2006/12/28**

現実を論ずるときにすら現実主義的でどうする。

理想のありかたについてまで理想論を振りかざしてどうなる。

**「阿呆理詰日記1961」 2006/12/29**

常識を常識と認めるには常識を超えねばならない。

非常識を非常識と見破るには常識に超えさせねばならない。

**「阿呆理詰日記1962」 2006/12/30**

騙されるのと裏切られるのと、

どちらがましだろうと考えてるうちは騙される。

どちらがいやだろうと考えはじめると裏切られる。

どっちもごめんだと思いきや騙されるやつは騙されるし。

騙されるやつは裏切られもするし。

**「阿呆理詰日記1963」 2006/12/31**

自嘲の自由を奪われたとき自責へ。

自責の束縛を解かれたとき自虐へ。

自虐の衝動を鎮められたとき自戒へ。

自戒の隙間が綻びたとき自沈へ。

どこかで脇道を見つけれれば自転へ。

**「阿呆理詰日記1964」 2007/1/1**

「大丈夫？」と言われるまでは絶対大丈夫っす。

「大丈夫」と答えるまではたぶんそこそこ大丈夫っす

**「阿呆理詰日記1965」 2007/1/2**

カッコいいセリフを決めるためには、セリフより自分がブザマでなければならない。

**「阿呆理詰日記1966」 2007/1/3**

見た目判断するのはよろしくないが、

見た目判断しそうな見目で判断するのはよろしい。

見目で判断されそうな見目で判断するのは大変よろしい。

**「阿呆理詰日記1967」 2007/1/4**

たとえば従軍慰安婦問題というのは、皮を剥がれたとはさぞ寒かったろうにと同情するたぐいに見えるのだが、甘いだろうか。

**「阿呆理詰日記1968」 2007/1/5**

来世を夢見る人は、来世に行っても再来世に賭けざるをえないだろう。  
来世に無関心な人は、再来世なしで来世を生きていけるだろう。

**「阿呆理詰日記1969」 2007/1/6**

金目当ての愛にお似合いなのは、愛目当ての金だけ。  
としか見れない目にお似合いなのは、愛なしの金と金なしの愛だけ。

**「阿呆理詰日記1970」 2007/1/7**

ないよりはまし（なものが無いよりはまし）かどうかは、考えないよりはまし（かどうかは、考えないよりはまし）。

**「阿呆理詰日記1971」 2007/1/8**

霊をやたら怖がる人々がいる。もし霊がなかったら怖くてたまらないからだ。

**「阿呆理詰日記1972」 2007/1/9**

地獄をやたら怖がる人々がいる。死後の世界がなかったらもっと怖いからだ。  
神をむやみに崇める人々がいる。神がなかったら何かを本心から崇めざるをえなくなるからだ。

**「阿呆理詰日記1973」 2007/1/10**

驚くべきことが生じたら、驚くべきである。  
ただし、驚くべきことに驚くべきであって、驚くべきことが生じたことに驚くべきではない。

**「阿呆理詰日記1974」 2007/1/11**

戦争でどれだけ非情になれるかが国の文化レベルを示す。  
そんなこと主張するやつはアホ。  
信じてないやつはもっとアホ。

**「阿呆理詰日記1975」 2007/1/12**

理性は、神を不要とするために必要である。  
神は、理性が不要であるかのようにみせるために必要である。

**「阿呆理詰日記1976」 2007/1/13**

神が善とはかぎらないなら、神は信仰に値しない。  
神が善でなければならぬなら、神より善が信仰に値する。

**「阿呆理詰日記1977」 2007/1/14**

論理より感情を信頼するという場合、論理への感情と、感情の論理とを比べていることがしばしば。

**「阿呆理詰日記1978」 2007/1/15**

発展しうるかどうか確かめるのは簡単。恋愛を話題にしてみても楽しいかどうか。  
発展してるかどうか確かめるのは簡単。恋愛を話題にして もどかしいかどうか。

**「阿呆理詰日記1979」 2007/1/16**

日常生活でやっちゃならないことは、学問や芸術でもやっちゃならない。  
日常生活で意識しなきゃならないことは、学問や芸術では真っ先に意識せにゃならん。

**「阿呆理詰日記1980」 2007/1/17**

けだものみたいな奴が迷惑なのは、すでに野獣ではなくなっているせい。  
マシーンみたいな奴が味気ないのは、マシーンになりきれていないせい。

**「阿呆理詰日記1981」 2007/1/18**

役立たない格言ほど役に立つものはない。それが役立たないと知られているかぎり。

**「阿呆理詰日記1982」 2007/1/19**

ロマンスの書きかた。ホラーの作りかた。  
現実よりも。

人の嫉妬心をちょい多めに、好奇心をぐっと少なめに描くこと。  
自省をちょい多めに、自制をぐっと少なめに描くこと。

**「阿呆理詰日記1983」 2007/1/21**

言いたいことが、言えるくらいなら、言いたいことなど、あるわけないっ。  
言いたいことが、あるくらいなら、言いたいなどと、言うわけないっ。

**「阿呆理詰日記1984」 2007/1/21**

二十世紀以降の大破壊の最大の教訓は、人類の持てる破壊力も結局は生命力の息の根を止められないのだったこと。あれだけ爆撃されたドイツも日本もベトナムも、国家機能の喪失には程遠かった。

**「阿呆理詰日記1985」 2007/1/22**

興味本位のうちで最もよろしくない種類は、「興味ないので」ってやつ。

**「阿呆理詰日記1986」 2007/1/23**

人間だけが持っている本能とは、獣から引き継いだ知性だけである。

**「阿呆理詰日記1987」 2007/1/24**

あるだけで不思議なものは、あるから不思議だと思われがち。  
あってもなくても不思議というのが本当のところなのだが。

**「阿呆理詰日記1988」 2007/1/25**

美意識そのものは美しいとはかぎらぬが、恐怖心が恐るべきものだともかぎらぬが、不思議に打たれる不思議感そのものは最大の不思議である。

**「阿呆理詰日記1989」 2007/1/26**

独り言を  
言い間違えたら  
訂正を言い直さねば  
気がすまないタイプ。  
一って几帳面とは言わないでしょう普通。  
一てゆうか言い間違えしうるような独り言、言わないでしょう普通。  
一という独り言。

**「阿呆理詰日記1990」 2007/1/27**

血液型のうちただ一つ性格を判断できるものがある。「血液型不明」。

**「阿呆理詰日記1991」 2007/1/28**

現実逃避の見分けかた。「現実的に考えると」「現実から目をそらさずに」「現実即して言えば」系セリフの増えてきた人。

**「阿呆理詰日記1992」 2007/1/29**

第一段階。金がすべてと思いつむ。  
第二段階。金がすべてと思いつむのはアホだと悟る。  
第三段階。アホこそ正しいと悟る。  
第四段階。正しくても儲からないと悟る。

**「阿呆理詰日記1993」 2007/1/30**

現実逃避、モヒトツの見分けかた。「正面から立ち向かう」「逃げずに」「正々堂々と」系セリフの増えてきた人。

←1991

**「阿呆理詰日記1994」 2007/1/31**

第一段階。愛がすべてと思い込む。  
第二段階。愛がすべてと思い込むのは幻想だと悟る。  
第三段階。幻想こそ美しいと悟る。  
第四段階。美しくても（ ）ないと悟る。

←1992

**「阿呆理詰日記1995」 2007/2/1**

説明では納得しない人ほど、説明を求める。  
愛では癒されない人にかぎって、愛を欲しがらる。

**「阿呆理詰日記1996」 2007/2/2**

神は全能かもしれないが、万能ではないらしい。かりに万能だとしても、有能ではないようだ。たとえ有能だとしても、有望でないことは確かだ。

**「阿呆理詰日記1997」 2007/2/3**

勝てる戦いに負ければ得とわかったときに、勝たずにすませる勇気があるかどうか。  
損に甘んじれば勝てるとわかったときに、あえて得を見送る意地を貫けるかどうか。

**「阿呆理詰日記1998」 2007/2/4**

使うのがもったいない人と、使わないのがもったいない人と。  
もったいをつけたいからもったいぶる人と、ぶりたいからもったいぶる人と。

**「阿呆理詰日記1999」 2007/2/5**

自分が機械でないって証明してみ。  
証明できなきゃ謙虚に機械と考えとくべきだし、  
証明できればあんた誇るべき証明機械。

**「祝 阿呆理詰日記2000」 2007/2/6**

似ているとなぜ、可笑しいのだろう。  
似ているとなぜ、怖いのだろう。  
似ているとなぜ、腹立たしいのだろう。  
似ているとなぜ、懐かしいのだろう。  
似ているとなぜ、惜しかったり焦ったりなんだろう。  
似ているとなぜ、ほっとするのだろう。  
似ているとなぜ、不思議なんだろう。  
似ているとなぜってば。

**「阿呆理詰日記2001」 2007/2/7**

一番多い反響は、「反響が楽しみですね」という反響である。

**「阿呆理詰日記2002」 2007/2/8**

力でなく愛によって平和をもたらすことが最も重要だ。  
ただし、愛に平和が訪れないかぎり、無意味だ。

**「阿呆理詰日記2003」 2007/2/9**

愛によってもたらされた幸福ほど、愛によって滅ぼされやすいものはない。

**「阿呆理詰日記2004」 2007/2/10**

産む機械じゃないというなら何。

産まない機械。産むとはかぎらぬ機械。産む以上の機械。産む〈機械以下のもの〉。産む〈機械とはかぎらぬもの〉。産む〈機械以上のもの〉。〈産む機械〉と呼ばれてはならぬもの。特定の呼称に機械的に反発するもの。

**「阿呆理詰日記2005」 2007/2/11**

最も強烈な不幸は、絶望であろうか。  
それを上回る不幸といえばただ一つ、どうしても絶望できないことであろうか。

**「阿呆理詰日記2006」 2007/2/12**

死にたい死にたいと言ってるやつは、たいていすぐ死ぬ。  
死にたい気持ちが病みつきになって、それ感じたさに生き続けるやつはもっと多いかもしれんが。

**「阿呆理詰日記2007」 2007/2/13**

猪突猛進は必ずうまくいく。  
ただし、こっそりやった場合にかぎって。

**「阿呆理詰日記2008」 2007/2/14**

機械、と言われて怒るのは得策ではない。だって、ほんとに機械だったらどうするの。

**「阿呆理詰日記2009」 2007/2/15**

体は悪くない、精神的なものだよと安心させる。  
心が病んでるわけじゃない、体調の問題だよと安心させる。  
今がいちばんいい時なんだから、と激励する。  
今より苦しい時は決してないのだから、と激励する。

**「阿呆理詰日記2010」 2007/2/16**

慰める激励ほど萎えさすものはなく、  
奮い起たす激励ほど焦らすものはない。

安心な情報ほど無益なものはなく、  
役立つ情報ほど不安なものはない。

**「阿呆理詰日記2011」 2007/2/17**

自分はこういうものなんだと受け容れるのが最良。  
人間とはこういうものなんだと決めつけては最悪。

**「阿呆理詰日記2012」 2007/2/18**

最高の幸福は、希望が叶えられたときであろうか。  
それを上回る幸福といえばただ一つ、希望など叶えなくてよいときだろうか。

←2005

**「阿呆理詰日記2013」 2007/2/19**

人生が癖にならん人だけがあっさり自殺できるんですねと。  
凝り性なもんで、自殺なんて考えたことないんですよと。

←2006

**「阿呆理詰日記2014」 2007/2/20**

似たものだけを愛するとは、なんと愛に似ておらぬことよ。  
似あうものだけを愛するとは、なんと愛に似あわぬことよ。

**「阿呆理詰日記2015」 2007/2/21**

どれほど深い退屈に堪えられるかが、真にスリリングな人生の要点である。

「阿呆理詰日記2016」 2007/2/22

ぶっちゃけ言っちゃまおうよ……

恋愛とは、♂はいかにやり逃げできるか、♀はいかに食い逃げできるかの勝負に尽きておる。  
(あとはそのバリエーション)。

「阿呆理詰日記2017」 2007/2/23

幸福体質も不幸体質も、取り返しのつかない失敗を悔やむことでは同じ。  
不幸体質の人だけが、避けられなかった誤りを悔やむ。

「阿呆理詰日記2018」 2007/2/24

取り返しのつかない失敗を悔やむのは、誰もが避けられない誤り。  
誰もが避けられない誤りを悔やむのは、避けられるはずの取り返しのつかぬ失敗。

「阿呆理詰日記2019」 2007/2/25

良書。内容を見れば、なぜ書かれたかがわかる本。  
駄本。なぜ書かれたかを知れば、内容がわかる本。

「阿呆理詰日記2020」 2007/2/26

愛はすべてをうまくまとめる。  
ただひとつつけないのは、「愛」という名称のみ。

「阿呆理詰日記2021」 2007/2/27

近くしか見えない眼より近くしか見えない眼は、近くだけ見たがる眼。  
近くだけ見たがる眼より近くだけ見たがる眼は、近くが見えない眼。  
近くが見えない眼より近くが見えてない眼は、近くしか見えない眼。(もちろん)

「阿呆理詰日記2022」 2007/2/28

—択一問題—

友の多い者は敵も多い。  
と信じている者は、

友も多いし敵も多い。  
友ができれば敵もできる。  
友もないし敵もない。  
友ができて敵にも満たない。  
友に満たない敵しかできない。  
友に短し敵に長し。

「阿呆理詰日記2023」 2007/3/1

アドルフ・ヒトラーが、  
戦争努力と無関係にガス室で一千万人殺した罪より、  
姪にスカトロプレイを強要して自殺に追い込んだ\*罪のほうが重いと、  
そういう罪観を抱くことは罪であると  
信じるのが真の罪を防ぐのに有効であると思う人。

(\* 史実です)

「阿呆理詰日記2024」 2007/3/2

……>言葉にして初めて気づく愛>言葉にしたばかりに壊れる愛>言葉にしそびれて失われる  
愛>言葉を控えてこそ実る愛>……

「阿呆理詰日記2025」 2007/3/3

差別と選別の弁別をしすぎると、差別と選別の判別ができなくなる。  
差別と選別の分別を見落とすと、差別と選別の識別に囚われてしまう。

**「阿呆理詰日記2026」 2007/3/4**

寛容がしだいに普及してきている。  
禁じてもよいという寛容が。

**「阿呆理詰日記2027」 2007/3/5**

三大〈過ちのもと〉。  
警戒心なき猜疑心、収集欲なき好奇心、実感なき列挙。

**「阿呆理詰日記2028」 2007/3/6**

愛は鍵。  
錠を開けるためのではなく、いろんな錠によって試すための。

**「阿呆理詰日記2029」 2007/3/7**

思い出ほどすみやかに過去を消し去るものはない。

**「阿呆理詰日記2030」 2007/3/8**

人は徐々に強まる痛みには耐えられないが、徐々に強まる恐怖、徐々に強まる嫌悪には無限の耐性を持っている。

**「阿呆理詰日記2031」 2007/3/9**

欲望にも衝動にも、耐えるより流されるほうが易しい。  
欲望にも衝動にも、うまく耐えるよりうまく流されるほうが難しい。

誘惑にも流行にも、耐えるより流されるほうが楽しい。  
誘惑にも流行にも、うまく流されるよりうまく耐えるほうが楽しいったら。

**「阿呆理詰日記2032」 2007/3/10**

人の話を聞かない人ほど、人の意見に左右されがちである。

**「阿呆理詰日記2033」 2007/3/11**

賢者は、失敗から学べる。  
真の賢者は、成功からさえ学べる。

**「阿呆理詰日記2034」 2007/3/12**

知者は、転んでもただでは起きない。  
勇者は、損でもかまわず起きる。  
信者は、転んでも気づかない。

**「阿呆理詰日記2035」 2007/3/13**

緒戦の負傷は勲章。  
山場の負傷は不肖。  
大詰めの負傷は負担。  
末期の負傷は不運な強運。

**「阿呆理詰日記2036」 2007/3/14**

思いきり遊ぶ人が、遊びで思いきれるとはかぎらない。  
気がすむまでこだわる人が、こだわりで気がすむことはめったにない。

**「阿呆理詰日記2037」 2007/3/15**

こだわって気がすむとわかっていたらこだわりやしないでしょうな。

**「阿呆理詰日記2038」 2007/3/16**

こだわれば気がすむとわかっていたらいくらこだわっても気がすみやしないでしょうな。

**「阿呆理詰日記2039」 2007/3/17**

方向を定めれば方法も定まるだろう。一方法の最も定まらぬ例。  
方法さえ間違えなければ方向を誤ることはないだろう。一方向を最も誤った例。

**「阿呆理詰日記2040」 2007/3/18**

面白い話なるものいきなり聞くから面白いので、徐々に体験したら鬱陶しいだけ—  
面白い話なるもの体験してすらいきなりだったら面白いので、聞くだけでも徐々にだったら鬱陶しいだけ—

**「阿呆理詰日記2041」 2007/3/19**

芸術は深い、と信じ込んでるようでは、芸術を深く理解することはできない。  
芸術の深さを見通せないようでは、芸術の浅さを見抜くことはできない。

**「阿呆理詰日記2042」 2007/3/20**

芸術の深さを見通せてしまうと、人生の浅さを見通せなくなる。

**「阿呆理詰日記2043」 2007/3/21**

人の心は理解しがたいほど深い。かつ、深いから理解できる。  
人の心は深いと言える程度に浅い。浅いから心置きなく深い深いと言ってられる。

**「阿呆理詰日記2044」 2007/3/22**

ゆで卵からヒナが孵る確率はゼロである。が、マグカップからヒナが生まれる確率よりは高いに違いない。

**「阿呆理詰日記2045」 2007/3/23**

マグカップからヒナが生まれる確率はゼロである。が、円周率からヒナが生まれる確率よりは高いに違いない。

**「阿呆理詰日記2046」 2007/3/24**

世に言われることといえば、言われなくてもわかってることと、言われてもわからんことばかり。— ことは言われなくても— 言われたって— わかっても

わからなくても—

**「阿呆理詰日記2047」 2007/3/25**

愛が幸いなのは、愛は有限と諦めなくてよいから。  
愛が救いなのは、愛は永遠と信じなくてよいから。

**「阿呆理詰日記2048」 2007/3/26**

幸福には諦めと希望。救済には信仰と覚醒。そう割り切れれば救われる。そう割り切らずにすめば幸いだ。

**「阿呆理詰日記2049」 2007/3/27**

次の二つの違いに気づくことは重要である。  
重要でないことを重要視してみることで気づき。  
重要でないことが実は重要だったという気づき。  
— 『のぞき学原論』 p.297. 注 [76] 参照—

**「阿呆理詰日記2050」 2007/3/28**

信じてても信じてても疑念から逃れられないように、疑っても疑っても迷いから逃れられない。

**「阿呆理詰日記2051」 2007/3/29**

噂が噂のまま終わるとき、終わりは終わりのままでは終わらないだろう。

**「阿呆理詰日記2052」 2007/3/30**

現実の不愉快であればあるほど話として面白いというのが現実で。  
話として愉快であればあるほど現実としても面白いというのが話で。

**「阿呆理詰日記2053」 2007/3/31**

悟ってなんかいない。考えただけ。  
考えてなんかいない。察しただけ。  
察してなんかいない。学んだだけ。  
学んでなんかいない。習っただけ。  
習ってなんかいない。慣れただけ。  
慣れてなんかいない。染まっただけ。  
染まってなんかいない。流されただけ。  
流されてなんかいない。漂っただけ。  
天然流。漂って悟ること。自然体。

**「阿呆理詰日記2054」 2007/4/1**

妄想を実用化できなくても、転用することはできる。  
幻想を実現はできなくても、実践することはできる。

**「阿呆理詰日記2055」 2007/4/2**

芸術はおおむね賞賛すべきものだと思う。  
が、賞賛はえてして無価値な態度だと思う。

**「阿呆理詰日記2056」 2007/4/3**

幻覚よりも霊のほうが怖い。  
霊よりも幻覚のほうが危険。

危険よりも恐怖のほうが危険。  
恐怖よりも危険のほうが怖い。

**「阿呆理詰日記2057」 2007/4/4**

無価値な芸術を、芸術的な無価値になぞらえるわざは、芸術。  
芸術的な無価値を、無価値な芸術とよそおうさがは、無価値。

**「阿呆理詰日記2058」 2007/4/5**

運の悪さの最大の原因は、運の悪さを嘆く運命をもって生まれたこと。  
運の悪さの最小の結果は、運の悪さを嘆くこと。

**「阿呆理詰日記2059」 2007/4/6**

同じ問いをどれだけ蒸し返す厚かましさを持てるか。それが哲学の意志。  
同じ答えをどれだけリサイクルする慎ましさを保つか。それが哲学の知恵。

**「阿呆理詰日記2060」 2007/4/7**

知を否定するのが哲学の知。ととりあえず言うておくのが哲学の知。  
情を拒むのが哲学の情。と言いたくてやまないのが哲学の情。  
意に反するのが哲学の意。とあえて言おうとするのが哲学の意。

**「阿呆理詰日記2061」 2007/4/8**

妄想だとわからないから妄想は妄想。  
幻覚だとわかっているても幻覚は幻覚。  
虚構だとわかればわかるほど虚構は虚構。

**「阿呆理詰日記2062」 2007/4/9**

三択問題。

誤りへの罰はただちに下されるのに、罪への罰はいつまでも下されない。  
—この世の犯してる誤りの最たるもの。  
—この世の犯してる罪の最たるもの。  
—この世に下されてる罰の最たるもの。

**「阿呆理詰日記2063」 2007/4/10**

力を溜めるのはいいことだが、溜めが力になることはめったにない。

**「阿呆理詰日記2064」 2007/4/11**

溜めが力になることはたまにあっても、溜まりが力になることはまずない。  
溜まりが力になることはまずないし、溜まりが力を溜めることは絶対でない。

**「阿呆理詰日記2065」 2007/4/12**

電車内で、月一ほどの頻度で出くわすのですが。  
やたらドラマのセリフみたいに殊更ハッキリ会話している人。  
ああいう人って、いつもだろうか。

**「阿呆理詰日記2066」 2007/4/13**

忘れないよう書き留めておくのか、忘れてもよいよう書き留めておくのか。  
別れないよう撮っておくのか、別れてもよいよう撮っておくのか。  
いざのための備えなのか、いざとしての備えなのか。

**「阿呆理詰日記2067」 2007/4/14**

仕方ない、と呟く仕方だけがある。それじゃ仕方がないな。  
仕方ない、と呟くだけの仕方がある。それもまた仕方がないな。  
仕方ない、と呟けるほどの仕方はある。それでも仕方がないな。

**「阿呆理詰日記2068」 2007/4/15**

どんな苦しみにも悲しみにも、人間は余裕で耐えられるもの。  
自分への怒りが混じってさえいなければ。  
仕方ない、と呟きたくなるほど仕方がある。それこそ仕方がないってものだな。  
←1446

**「阿呆理詰日記2069」 2007/4/16**

暇つぶしで暇をつぶすよりは、暇で暇をつぶすほうがよい。  
最高の暇つぶしは、暇それ自体である。

Which is better of the two?

**「阿呆理詰日記2070」 2007/4/17**

つぶさねばならない暇と、つぶさなくてもよい暇と、つぶしてはいけない暇とを区別することが、  
暇人であるための前提条件である。  
忙人としての生存手段である。

**「阿呆理詰日記2071」 2007/4/18**

私らって、重要事項を忘れることはまずない。  
それが重要事項だってことを忘れがちなのだ。

**「阿呆理詰日記2072」 2007/4/19**

年一ほどの頻度で出くわすのですが。  
やたら洋画の吹き替えみたいに極々滑らかに会話している人。  
ああいう人って、いつもじゃなかろうね。  
←2065

「阿呆理詰日記2073」 2007/4/20

一流を題材にしないと一流の作品が書けない著者は、( )流。  
メジャーを題材にしないとメジャーな作品が書けない著者は、( )流。  
メジャーが題材でないと一流の作品と認めない読者は、( )流。  
( )内に数字を入れた人は、( )流。

←1507

「阿呆理詰日記2074」 2007/4/21

愚を悪と見なすのは愚。  
悪を愚と言いなすのは悪。

「阿呆理詰日記2075」 2007/4/22

言葉が行動の仕方を演じる。  
行動が言葉の仕方を語る。

←2067

「阿呆理詰日記2076」 2007/4/23

悲鳴をあげているからといって、助けを求めているとは限らない。  
助けを求めているからといって、助けてほしいとは限らない。  
助けてほしいからといって、助かりたいとは限らない。  
限らないからといって、でないとは限らない。

「阿呆理詰日記2077」 2007/4/24

腹立たしい他人は何人居ても許せる。  
自分への腹立ちを逸らしてくれるかぎりは。

←2068

「阿呆理詰日記2078」 2007/4/25

霊って、こわいんですか？  
大発見なのに？

「阿呆理詰日記2079」 2007/4/26

霊が人を怖がらせるにも、霊側の用意周到な最適条件が必要なんだなあ。  
『呪』(2003)『怨』(2003)『呪怨』(2000-3)『呪霊』\*(2000-3)『黒呪霊』\*(2004)『呪戒』(2005)  
『邪怨』(2004)『屍怨』(2004)『怨喰』(2006)『呪撮』\*(2006)『呪村』(2004)『怨念』\*(1997)  
『怨霊』(2004-7)『悪霊』(2004)『屍霊』(2004)『邪霊』(2005)『生霊』(2005)『生霊 いきすだ  
ま』(2001)『水霊』(2006)『降霊』(1999)『霊縛』(2006)『霊女』(2003)『怨霊郷』(2001)『邪  
願霊』(1988)『女呪霊』\*(2004)『呪狗女』(2004)『少女霊』(2006)『自殺霊』(2003)『悪霊箱』  
(2005)『死霊波』(2005)『呪霊伝説』(2004)『死づえ 噂霊』(2005)『呪縛病棟』(2006)『美少女  
呪縛』(2004)『呪詛返し』\*(2002)『呪怨の館』(2003)『連鎖呪殺』(2006)『悪霊怪談』(1996)  
『稲川淳二の呪界』(2000)『池田貴族の怨霊写真』(1997)『念珠』\*(2004)『隙魔』(2005)『輪廻』  
\*(2005)『ノロイ』\*(2005)『いわく憑き』(2004)『心霊写真奇譚』\*(2006)『亡霊の棲む家』\*(2000)  
……といったJ映画(もしくはJTV)を観ているとしみじみそう思います。

- \* は、『呪怨』を基準として、  
基準値以上の作品を示します。
- + は、霊がおもてむき登場しない作品を示します。

「阿呆理詰日記2080」 2007/4/27

死ぬまで元気でいたい、と言う人は、元気なうちは死にたくない。  
寝たきりにはなりたくない、と言う人は、寝たきりになっても生きていたい。

「阿呆理詰日記2081」 2007/4/28

恋愛に興味ない女だと、ホッとすね。

セックスに興味ない男がたぶんホッとさせてるのと同じだね。

「阿呆理詰日記2082」 2007/4/29

いかなる教訓も、その内容より、そのような教訓があるということが教訓になる。  
それが教訓であるということが教訓になる。

「阿呆理詰日記2083」 2007/4/30

このaphorismは、その内容より、これもaphorismであるということをアピールしています。

「阿呆理詰日記2084」 2007/5/1

感性の枯渇したやつが、感情に溺れる。  
情熱を失ったやつが、情念に流される。

「阿呆理詰日記2085」 2007/5/2

誰もが、強固に定まった運命に縛られている。  
一人につき何通りもの強固な運命に。

「阿呆理詰日記2086」 2007/5/3

助かりたいからといって、救われたいとは限らない。

←2076

「阿呆理詰日記2087」 2007/5/4

腹立たしい自分は何人居ても許せる。  
ただ一人の自分への腹立ちを逸らしてくれるかぎりには。

←2077

「阿呆理詰日記2088」 2007/5/5

謙遜はしないほうが得だろうな。  
本当にその程度の力なのかと侮られかねないから。  
謙遜はしないほうが無難だろうな。  
その程度の力なら謙遜のネタですとか自惚れやがって。

「阿呆理詰日記2089」 2007/5/6

質問と答えのどちらが重要？

1、2のどちらを真剣に受け止めるべきか考えれば自ずと明らか。

1. いい加減な質問+真剣な答え。
2. 真剣な質問+いい加減な答え。

「阿呆理詰日記2090」 2007/5/7

スプラッター映画の戦慄に「まさかほんとに殺ってないよな」は何%占めるだろう。  
モンスター映画ののけぞりに「まさか現実に襲ってくるのでは」は何%占めるだろう。  
絶叫マシンのスリルに「まさか事故ったりして」は何%占めているだろう。

「阿呆理詰日記2091」 2007/5/8

これら \* は、謙遜だろうか。

「kaonouenisuwattekurenai?」「ee-? dame. \* kusaikara」

「oshirikaidemoii?」「ee-? demo. \* nioinanteshinaiyo」

どちら \* がいっそう謙虚だろうか。

「阿呆理詰日記2092」 2007/5/9

イメージの湧かない対象ほど、イメージが膨らんでゆく。  
アイディアの滞る主題ほど、アイディアが沸騰してゆく。

**「阿呆理詰日記2093」 2007/5/10**

耐えられないから死を選ぶ。

死ねば耐えなくてすむから。死ねば耐えたことになるから。死ねば耐えられるようになるから。

**「阿呆理詰日記2094」 2007/5/11**

死ねばもはや耐えなくてすむから。死ねばすでに耐えたことになるから。死ねばずっと耐えられるようになるから。

(2093の原案。 Which should have been the final edition?)

**「阿呆理詰日記2095」 2007/5/12**

躍起になって批判するとき、その動機の半分は、自分以外のやつに批判させまいという独占欲である。

**「阿呆理詰日記2096」 007/5/13**

人を非難するときは、正しくなければならない。

人を批判するときは、尤もらしければよい。

**「阿呆理詰日記2097」 2007/5/14**

人命の重さは人数では決められない。

だって勘定を間違えているかもしれないんだよ。

**「阿呆理詰日記2098」 2007/5/15**

どれほど効率的な生活なのか知るには、どれだけ無駄遣いできているかを見るべし。

**「阿呆理詰日記2099」 2007/5/16**

元に戻ったからといって、元に戻れているとはかぎらない。

元に戻れたからといって、戻るべき元があったとはかぎらない。

**「阿呆理詰日記2100」 2007/5/17**

ループとらせんは、真上から見れば同じである。

**「阿呆理詰日記2101」 2007/5/18**

真も偽も、善も悪も、美も醜も、愛も憎も、勝も敗も、得も損も、快も苦も、論理も非論理も、真上から見れば同じである。真上から見る事ができれば。

**「阿呆理詰日記2102」 2007/5/19**

希望と絶望は同じことである。希望の観点から見れば。

希望と絶望は同じことである。絶望の観点から見ても。

**「阿呆理詰日記2103」 2007/5/20**

らせん（弁証法）もループ（循環論）も、廻りながら見れば同じである。廻りながらついていければ。

**「阿呆理詰日記2104」 2007/5/21**

腹立たしい他人の数だけ嘆かわしい自分がある。

誇らしい自分の数しか悦ばしい他人はいない。

←2087

**「阿呆理詰日記2105」 2007/5/22**

主人公と主役が一致するかどうか。通俗の基準その1

**「阿呆理詰日記2106」 2007/5/23**

カネしか信じないやつは信用できる。

ちよい困るのは、ニセ札しか信じないやつだ。

**「阿呆理詰日記2107」 2007/5/24**

金額しか信じないやつは信用できる。数式しか信じないやつも信用できる。  
金より愛と言うやつはもっと信用できる。  
困るのは、金より愛を信じてるやつ。  
もっと困るのは、愛しか信じないやつ。  
いちばん迷惑なのは、愛なら信じるやつだ。

**「阿呆理詰日記2108」 2007/5/25**

明確な輪郭を信じる姿勢。もちろん信用できる。  
輪郭の明確なものを信じる姿勢。不明確この上なし。

**「阿呆理詰日記2109」 2007/5/26**

最大限の努力をします、とはな。てんで努力が足らんな。  
最小限の努力ですまそう、それでこそ本当の努力だろう。

**「阿呆理詰日記2110」 2007/5/27**

努力を隠す努力がしばしばなされるが、犠牲を隠したがる人はいない。

**「阿呆理詰日記2111」 2007/5/28**

言葉の力を誇示する言葉こそ力を持つ。愛の力を誇示する愛こそ力に屈する。

**「阿呆理詰日記2112」 2007/5/29**

力の論理が論理の力を説明する。論理の情が情の論理を支配する。

**「阿呆理詰日記2113」 2007/5/29**

私ら一人一人に対して世界が無関心であることは変えようがないが、どのように無関心であるかはいくらかでも変えることができる。

**「阿呆理詰日記2114」 2007/5/31**

騙さないと得した気になれないやつが、騙されないとリアルになれないやつを騙せる確率  
=信じれば得すると信じてるやつが、信じられても損ばかりと信じてるやつと信じあえる確率